

第140回「村長とのふれあいトーク」当日のやりとりコメント

【1】特筆すべき事項なし

【2】東海村に小児専門眼科を作ってほしい

自分の子が今まで水戸にあるメディカルセンターの小児専門眼科に通院していたが、今年の3月で診療科がなくなってしまい近隣で診てもらえる所がない。小児専門眼科は少なく、待ち時間や検査時間が長いので連れていくのも大変。東海病院にできれば、近くに公園やスーパーもあり来やすい環境である。水戸に通っていた時、小児専門の眼科を探してわざわざ遠方から来ていた方もいた。

⇒【村長コメント】

専門医の確保が難しい現状はある。東海病院は村立ではあるが、医師の採用は指定管理先が行っており、まず医師を確保できるのか、そのうえで週1でも村に呼ぶことが可能なのか、段階を踏んで検討していくことにはなるだろう。今の実情を踏まえ今後どんなことができるのかを病院に確認していきたい。市町村ごとのニーズが低ければ、水戸を中心とした広域で設置する可能性もある。

⇒【担当課コメント】

ご意見ありがとうございます。「村立東海病院に小児眼科を設置してほしい」とのご意見につきましては、村立東海病院をはじめとした地域医療への期待の表れとして受け止めております。

しかしながら、小児眼科は一般的な眼科診療等とは異なり、小児特有の疾患に対応できる専門医の確保のほか、派遣医であっても専用の検査機器や設備の整備費用、さらには他の診療科の見直しなどが必要となるなど多くの課題があります。このため、現時点で村立東海病院に小児眼科を新設する予定はございません。ご理解くださいますようお願いいたします。

一方で、村内には既に眼科が開設されており、一般的な小児の眼科症状については村内の眼科で対応可能であり、より専門性の高い検査・治療が必要な場合には、村内の眼科で紹介状を作成し、適切な専門医療機関へつなぐ体制となっております。

村としては、引き続き地域の医療ニーズを丁寧に把握しつつ、限られた医療資源の中で最適な医療提供体制の維持に努めてまいります。

【3】特筆すべき事項なし

【4-1】歩行者安全確保の観点からの道路構造確認について

東海村役場入口交差点から駅西大通りに抜ける道路で、イエローボックスが設置されているのにも関わらず横断歩道が1カ所しかなかったり停止線や止まれ標識があつたりなかったり、取り付けがバラバラである。また、路面塗装が消えかかっている箇所もあり危険。

⇒【村長コメント】

該当の箇所について承知した。道路整備時の経緯も含めて担当課に確認する。

⇒【担当課コメント】

横断歩道、止まれ、停止線などの道路の交通規制に係る路面標示につきましては、警察の管

轄になります。横断歩道や停止線の設置に統一性がない件につきまして、設置経緯を確認し、各施設の必要性を検討したうえで、対応を警察と協議してまいります。また、路面標示が消えている箇所及び止まれ標識がない箇所につきましては、警察へ情報共有及び対応を依頼いたします。

【４－２】公式LINE「損傷等の通報」等の直感的な使い方について

通報機能を時々使っているが、直感的には使いづらい。途中で間違えた場合は最初に戻ってやり直しとなったり、画像を複数枚求められるカテゴリもあつたりで、マニュアルを見たくてもそれが無い。他市町村のマニュアルを参考に村も整備したら良いのではないかな。

また、外出時に災害が起きた際、どこかの避難所に行けば良いか分からない。LINEの機能に避難所マップや経路案内が載っていれば便利である。

⇒【村長コメント】

ご意見として伺い、担当課にも共有する。